

## 生産は3カ月連続プラス 消費も概ねプラスを維持、住宅需要は堅調

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、3カ月連続で前年同月比プラスとなった。輸送機械工業が前年同月比▲36.2%と低下した一方で、化学工業は同+63.0%、汎用・生産用機械工業は同+22.6%と上昇し、全体を引き上げた。

7月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で同+1.7%と28カ月連続でプラスを維持。ドラッグストアは、26カ月連続プラスの同+1.4%と消費活動をけん引するも、ホームセンターは8カ月連続マイナスの同▲1.5%と、専門量販店ごとにばらつきがみられる。

新設住宅着工戸数は、2カ月連続で前年同月比プラス。持家は18カ月ぶりに前年同期比プラス、貸家も2カ月連続でプラスになるなど、住宅需要が回復傾向にある。

各指数の矢印については  
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

### 鉱工業生産指数



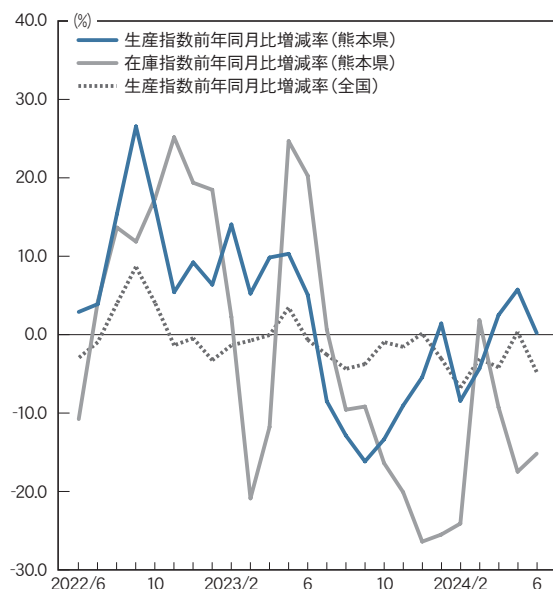
### 前年同月比3カ月連続プラス(6月)

6月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前年同月比+0.16%の125.3と3カ月連続でプラスとなった。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、輸送機械工業（前年同月比▲36.2%）や電気機械工業（同▲26.8%）など14業種で低下したが、化学工業（同+63.0%）や汎用・生産用機械工業（同+22.6%）などが上昇した。業種別寄与度を見ると、化学工業が+3.28ポイント、汎用・生産用機械工業が+1.25ポイント、プラスチック製品工業が+0.37ポイントとなり、全体の生産指数を押し上げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路は164.2（同▲4.3%）と低下した。

鉱工業生産・在庫指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値  
資料：熊本県統計調査課、経済産業省

## 住宅着工



## 着工戸数は2カ月連続前年比プラス(7月)

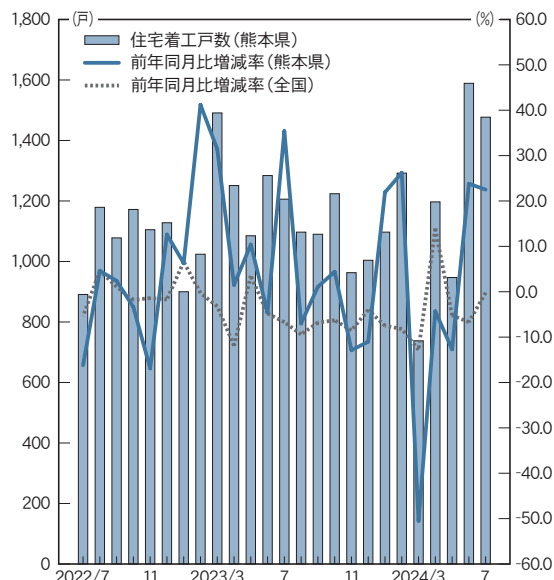
7月の新設住宅着工戸数は、前年同月比+22.5%の1,477戸となり、2カ月連続のプラスとなった。

利用関係別にみると、持家が419戸（前年同月比+15.1%）、貸家は745戸（同+8.0%）、分譲は273戸（同+82.0%）となっている。

持家が前年同月比を上回るのは18カ月ぶり。また、貸家も2カ月連続で前年同月比プラスとなっており、住宅需要が回復している。

なお、全国の7月の新設住宅着工戸数は、68,014戸（同▲0.2%）となっており、3カ月連続マイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

## 公共工事



## 請負金額は前年比マイナス(8月)

8月の公共工事件数は前年同月比▲20.6%の481件となり、請負金額は同▲23.3%の228

億円で、以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、国会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)

公共工事請負金額前年同月比

